

営農ウィークリーNEWS

2021年度 京都乙訓地域茄子立毛品評会 開催



京都府知事賞を受賞された、
春田忠男さんの圃場



審査の様子



8月6日(金) 2021年度 京都乙訓地域茄子立毛品評会が開催されました。

この品評会は、京都乙訓地域の茄子栽培技術の高位平準化と良質茄子生産にむけ、栽培農家の相互研鑽を促し、農家経営の安定と特産物としての茄子の生産振興に資することを目的に開催されます。

今年は、JA京都中央管内から6圃場、JA京都市管内から2圃場、合計8圃場の出品がありました。出品された圃場は、各地域で開催された品評会で上位に入賞した圃場です。

審査は、京都乙訓農業改良普及センター、京都府農産課、京都市、長岡京市、JAの11名が行いました。各地域の上位入賞圃場ということで、出品圃場は、素晴らしい状態に仕上げられていました。

また、ソルゴー障壁栽培や、黄色LEDランプなど環境にやさしい技術導入や圃場ごとに生産者の創意工夫が凝らされており、審査員を大いに悩ませました。

厳正なる審査の結果、JA京都中央 乙訓支店管内の春田忠男さんが見事、京都府知事賞を受賞されました。おめでとうございます！

—TAC information— 2021年度 京都乙訓地域茄子立毛品評会 特別賞受賞者

京都府知事賞	乙訓 春田忠男さん
京都府農業協同組合中央会長賞	向日 和田毅さん
全国農業協同組合京都府本部長賞	大原野 三浦元貴さん
京都府信用農業協同組合連合会長賞	羽束師 高畑一男さん
全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞	大原野 西田誠さん



トビイロウンカの飛来に注意してください！



本年、奈良県では、1948年以降最も早く飛来が確認され、昨年と比較しても1ヶ月早い発生と公表されております。京都府近隣の奈良県、大阪府、三重県では、トビイロウンカの注意報が発表されました。京都府内における8月3日までの予察灯（地点：京田辺、亀岡、京丹後）の誘殺数は確認されておりませんが、飛来していることが推察されます。ほ場で株元を観察してください。防除は「**トレボン粒剤**」の散布をおすすめ致します。今後、カメムシ類の防除と合わせて、「**キラップ粒剤**」、「**スタークル粒剤**」、「**スタークル豆つぶ**」などの散布も効果的です。※箱処理剤やその他殺虫剤の使用状況により、散布時期など異なりますので、詳しくは、お気軽にJAへお問合せください。



水稻・カメムシ類の防除を行ってください！

京都府病害虫防除所による8月の発生予報では、カメムシ類⇒「**やや多**」と発表されています。またJA管内の西南部地域を中心に発生している**ミナミアオカメムシ**も生育地域を拡大し続けております。出穂後、必ず防除を行ってください。



晩生品種「ヒノヒカリ」の場合

出穂期



8月

9月

10月

第1回

カメムシ類防除
キラップ粒剤
などを使用。



第2回

カメムシ類防除
スタークル粒剤、
スタークル豆つぶ
などを使用。

第3回

カメムシ類防除
スタークル粒剤、
スタークル豆つぶ
などを使用。

※発生状況に応じて



※2021年は、特に発生量が多いことが予想されます。キラップ粒剤の併用をおすすめします。

高温対策も万全に準備してください！

(1)かけ流し灌漑を行う。(2)籾数過剰にならないよう1回目の穂肥を半分にする。一発肥料で元肥量が少く追肥をする場合は、追肥量を減らす。(3)出穂10～20日前前のフジワン粒剤施用(4kg/10a)。出穂10～20日前但し、収穫30日前まで・2回以内「高温登熟下における白未熟粒の発生軽減」。発根促進による吸水量、光合成量の増大を図る。6月5～10日植えの場合、8月5～15日頃施用。※散布される場合はお急ぎください。※投げ込み用の「フジワンパック」もあります。

※フジワンパック(殺菌・植物成長調整剤)

高温登熟下における白未熟粒の発生軽減・登熟歩合向上
出穂10～20日前但し、収穫14日前まで・2回以内
小包装のまま投げ入れる



 JA京都中央